



2026年4月14日

各 位

会社名 株式会社 セイワホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野見山 勇大  
(コード番号: 523A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役副社長 井川 径成  
(TEL 052-265-8467)

2026年5月期第3四半期決算 IR 関連のQ&A に関するお知らせ

日頃より、当社に関心をお寄せいただきありがとうございます。投資家の皆様の疑問点を解消できるよう、よくあるご質問をQ&A形式にて以下のとおり開示いたします。回答内容については、時点の相違によって多少の齟齬が生じる可能性があります。最新の当社の方針にもとづき、以下のとおりご回答申し上げます。

**Q. 2026年5月期第3四半期の着地について**

A. 当期純利益ベースで進捗率87.4%と堅調に推移しております。その他の主要指標についても計画から上振れしており、通期ガイダンスは達成可能と見込んでおります。

**Q. 売上や利益に季節性はありますか**

A. 年度末(3月末)に一定の納品集中が見られる傾向はあるものの、通期を通じては大きな繁閑の波はなく、比較的安定した推移となっております。

**Q. 既存事業の成長見通しについて教えてください**

A. 決算説明資料に記載の通り、過年度にグループ入りした企業(累計16社)の合計営業利益は譲渡前後で91%増加しております。

また、粗利率は29.9%(2024年5月期)→30.4%(2025年5月期)→36.6%(2026年5月期第3四半期時点)と着実に向上しております。

**Q. M&A 案件は継続的に発生していますか**

A. 事業承継市場においては、後継者不在企業の増加を背景に売り手ニーズは引き続き高い状況が続いており、受け皿となる企業は依然として不足しております。加えて、来年度以降の税制改正(ミニマムタックス等)の動向も踏まえ、足元では案件化の動きが活発化する可能性があるかと認識しております。当社においても直近の引き合い件数は増加傾向にあります。

**Q. 製造業以外への領域拡大は検討していますか**

A. 成長可能性に関する開示資料の通り、当社は原則として製造業および製造業関連事

業に特化しております。製造業関連事業とは、人材派遣、システム、工事等、製造業を支える機能を有する事業を指します。

**Q. 新規 M&A における主な対象領域について教えてください**

A. 既存事業を中心に、ニッチで競争力のあるモノづくり企業の譲受を基本方針としております。規模としては EBITDA100～300 百万円の企業が中心ですが、1,000 百万円規模の案件についても検討対象としております。

**Q. レバレッジ方針について教えてください**

A. Net Debt/EBITDA 倍率 3～4 倍を上限としております。現状の EBITDA 水準を前提とした場合、約 5,702～7,606 百万円の投資余力を有しております。

**Q. 今後の増資方針について教えてください**

A. 株式の希薄化を回避する方針であり、現時点で増資の予定はございません。現在の Net Debt/EBITDA 倍率は 0 倍程度となっており、手元資金および借入を活用した成長が可能と考えております。

**Q. 想定リスクとそのコントロール方法**

A. 現状の中東情勢を踏まえて、原材料コストの増加や製品供給の不安が広がっております。当社グループは顧客に対して高い価格競争力や独自の優位性を保有しているため、しっかりと真摯な価格転嫁の依頼、在庫の積み増しによる供給不安の是正に努めております。